

教科(科目)	理科 (物理基礎)	単位数	2	学年(コース)	3 学年
使用教科書	改訂 新編 物理基礎 (東京書籍)				
副教材等	ニューサポート 改訂 新編物理基礎 (東京書籍)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①基礎学力の定着と向上により、学ぶ意義を意識して学習する力を育成します。</p> <p>②規律ある学校生活を送る中で、責任ある行動をとる姿勢を育成します。</p> <p>③自己有用感を高めて、主体的に進路選択をする姿勢を育成します。</p> <p>④仲間と協力しながら、積極的に問題を解決する姿勢を育成します。</p> <p>⑤地域の特色やその魅力を理解し、地域の発展に貢献する心を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①少人数授業での協働的な学びやICTの活用により、個を伸ばす授業を展開します。</p> <p>②生徒との対話を重視し、保護者・外部機関等と協力しながら生徒を支援します。</p> <p>③世との主体的な進路選択につながる体験を取り入れた学習を行います。</p> <p>④生徒一人ひとりが自己の役割を自覚し、自己に対する肯定的な評価に気付くことができる行事運営を行います。</p> <p>⑤地域の人的・物的資源を取り入れ、地域と連携したキャリア教育を実施します。</p>

2 学習目標

<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動と様々なエネルギーに対する興味や関心を高めることを目指します。 視聴覚教材を用いて、視覚に訴える授業を行い、科学に対する興味や関心を育てます。 探究心、科学的な見方、思考する力を養うため、観察、実験、実習をできるだけ多く実施します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p>	<p>自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

5 評価方法

評 価 方 法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析 ・観察、実験、グラフでの表現の観察 ・レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析 ・レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認 ・授業中の発言、発表などの観察 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度や取組の観察 ・レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認 ・授業中の発言、発表などの観察 などから評価します。
内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 ・ 5	1 編 物体の運動とエネルギー 1 章 直線運動の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・副教材 ・演習プリント 	運動の表し方、変位と速度 等速直線運動、合成速度と相対速度 速度が変わる運動、自由落下運動 鉛直投射、水平投射	10	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期中間考査(考査の分析) ・提出物(記述の点検) ・授業の取組(記述の確認) ・授業の取組(行動の確認)
6 ・ 7	1 編 物体の運動とエネルギー 2 章 力と運動の法則		力とつり合い、力の合成と分解 垂直抗力と弾性力、慣性の法則 「運動の変化」と「力」 作用・反作用の法則 動摩擦力とその性質 静止摩擦力とその性質 空気の抵抗力、水圧と浮力	12	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期期末考査(考査の分析) ・提出物(記述の点検) ・授業の取組(記述の確認) ・授業の取組(行動の確認)
8 ・ 9	1 編 物体の運動とエネルギー 3 章 力学的エネルギー 2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 1 章 熱		仕事、仕事率、運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存 いろいろな運動でみる力学的エネルギー 温度と熱、と物質 熱の移動と保存、熱と仕事 熱機関と不可逆変化	13	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中間考査(考査の分析) ・提出物(記述の点検) ・授業の取組(記述の確認) ・授業の取組(行動の確認)
10 ・ 11	2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 2 章 波 2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 3 章 電気		いろいろな波、波の表し方、横波と縦波 波の重ね合わせ、定在波、波の反射、音波 弦の固有振動、気柱の固有振動 動いていない電気、動いている電気 電流と電気抵抗、直列接続と並列接続 電力と電力量、電流がつくる磁場 発電機のしくみ、直流と交流、電磁波	20	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期期末考査(考査の分析) ・提出物(記述の点検) ・授業の取組(記述の確認) ・授業の取組(行動の確認)

12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 4 章 エネルギーとそ の利用		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換と保存 ・原子核のエネルギー ・放射線の利用と安全性 ・エネルギーの利用と課題 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期学年末考査 (考査の分析) ・提出物 (記述の点検) ・授業の取組 (記述の確認) ・授業の取組 (行動の確認)
----------------------------------	-------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・各考査終了後、副教材・演習プリントの提出があります。
- ・実習を行った際には、レポート提出があります。

8 担当者からの一言

テストが苦手とあきらめることなく何度も授業プリントや副教材・演習プリントを繰り返しやれば、物理基礎が理解できるようになります。また、教科書の単語を覚えるだけでなく、周りの自然もよく見て下さい。そこには教科書に載っていたことが現れていることが多くあります。新しい発見に感動する心を忘れなければきっと理科が好きになるはずです。
(担当：山家 真奈美)

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2	学年	3学年
使用教科書	大修館書店「現代高等保健体育」				
副教材等	大修館書店「現代高等保健体育ノート」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ①基礎学力の定着と向上により、学ぶ意義を意識して学習する力を育成します。 ②規律ある学校生活を送る中で、責任ある行動をとる姿勢を育成します。 ③自己有用感を高めて、主体的に進路選択をする姿勢を育成する。 ④仲間と協力しながら、積極的に問題を解決する姿勢を育成します。 ⑤地域の特色やその魅力を理解し、地域の発展に貢献する心を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。 ①少人数授業での協働的な学びやICTの活用により、個を伸ばす授業を展開します。 ②生徒との対話を重視し、保護者・外部機関等と協力しながら生徒を支援します。 ③生徒の主体的な進路選択につながる体験を取り入れた学習を行います。 ④生徒一人ひとりが自己の役割を自覚し、自己に対する肯定的な評価に気付くことできる行事運営を行います。 ⑤地域の人的・物的資源を取り入れ、地域と連携したキャリア教育を実施します。

2 学習目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけようとする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後の移動や着替えを早くし、チャイムスタートを目指します。 ・頭髪を整えるとともに体操着や靴を正しく着用させ、規律正しくかつ安全に授業に参加する態度を育てます。 ・大きな声で点呼や体操を行うことを目指します。(号令に合わせて体操、ストレッチができるようになることを目指します。) ・トレーニングを毎時間実施し、基礎体力の向上を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康・安全を確保しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・技能の習得状況の観察 ・技能テスト ・課題プリントの分析 ・学習カードの記述の分析 ・レポート等の提出物の内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題プリントの分析 ・学習カードの記述の分析 ・ペアワークやグループワークでの発言や取組の観察 ・レポート等の提出物の内容 などから、評価します。	以上を踏まえ、 ・ペアワークやグループワークでの発言や取組(他者や仲間への関わり方等)の観察 ・学習カードの記述の分析 ・レポート等の提出物の内容 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	領域	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4 5	体づくり運動	5	体づくり運動	教科書 副教材	体づくり運動の行い方を学び、体力の向上を図る。自己の体力、生活に応じた課題を持ち、様々な運動を行う。	観察 学習ノート
4 5 6 7	3領域選択Ⅰ 陸上競技 バスケットボール バレーボール 柔道	18	陸上競技 球技 (ネット型) (ネット型) 武道	教科書 副教材	陸上競技では、記録の向上、競争の楽しさや喜びを味わい、各種目の特有の技能を高める。 バスケットボール・バレーボールでは、基礎・基本の技術を習得し、連携プレーでゲームが進められるようにする。ルールを理解し、チームとして組織的な攻撃・防御を展開できるようにする。 柔道では、わが国固有の文化を理解し、それに基づく行動の仕方を身に付ける。基本動作から、相手の多様な動きに応じた攻防を展開できるようにする。	観察 記録の計測 技能の習得 学習ノート
6 7	豊かなスポーツライフ の設計	3	体育理論	教科書 副教材	・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	課題プリント 観察
9	体づくり運動	2	体づくり運動	教科書 副教材	健康の保持増進や体力の向上を図る。自己の体力、生活に応じた課題を持ち、様々な運動を行う。	観察 学習ノート
	陸上競技 (長距離走)	6	陸上競技	教科書 副教材	自己に適したペースを維持して、長い距離を走り通し、記録を短縮したり、競争したりできるようにする。	観察 記録の計測 技能の習得 学習ノート
10 11 12 1	3領域選択Ⅱ 柔道 バドミントン 卓球 ダンス	19	武道 球技 (ネット型) ダンス	教科書 副教材	柔道では、わが国固有の文化を理解し、それに基づく行動の仕方を身に付ける。基本動作から、相手の多様な動きに応じた攻防を展開できるようにする。 バドミントン・卓球では、基礎・基本の技術を習得し、ゲームが進められるようにする。ルールを理解し、シングルスやダブルスで相手に応じた攻撃・防御を展開できるようにする。 ダンスでは、特性を理解し、いろいろなリズムを通して自己の能力に応じた課題をテーマに技能を高める。	観察 技術テスト 学習カード

11 12	豊かなスポーツライフ の設計	3	体育理論	教科書 副教材	・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造	課題プリント 観察
1	体づくり運動	2	体づくり運動	教科書 副教材	健康の保持増進や体力の向上を図る。自己 の体力、生活に応じた課題を持ち、様々な 運動を行う。	観察 学習ノート
1 2 3	球技選択 バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球	12	球技 (ゴール型) (ネット型)	教科書 副教材	バスケットボール・バレーボールでは、 基礎・基本の技術を習得し、連携プレー でゲームが進められるようにする。ルー ルを理解し、チームとして組織的な攻 撃・防御が展開できるようにする。 バドミントン・卓球では、基礎・基本の技 術を習得し、ゲームが進められるよう にする。ルールを理解し、シングルスやダ ブルスで相手に応じた攻撃・防御が展 開できるようにする。	観察 技術テスト 学習カード

計70時間(50分)

7 課題・提出物等

- ・ 学習カードの記入・提出があります。
- ・ 体育理論では、課題プリントの提出があります。

8 担当者からの一言

- ・ 常に技能の向上に努め、他者とのコミュニケーションを図れるようになってください。
- ・ 健康や安全に注意して、怪我がないようにしましょう。